

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	塩谷町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	ふるさと納涼祭	総事業費	10,369,500	10,319,586	9,200,000	9,200,000	9,200,000	48,289,086
		うち市町支出額	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	18,000,000
		うち県交付金	1,800,000	1,200,000	0	0	0	3,000,000
2	湧水の里マラソン大会	総事業費	3,690,405	3,397,323	3,000,000	3,000,000	3,000,000	16,087,728
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	8,500,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	750,000	0	0	2,750,000
3	道の駅交流促進事業	総事業費	2,164,995	2,114,010	1,600,000	1,600,000	1,600,000	9,079,005
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
4	しおや湧水の里ウォーク大会	総事業費	3,300,900	6,278,606	6,000,000	6,000,000	6,000,000	27,579,506
		うち市町支出額	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	3,000,000
		うち県交付金	300,000	300,000	300,000	0	0	900,000
5	玉生コミュニティ祭り	総事業費	330,194	318,992	500,000	500,000	500,000	2,149,186
		うち市町支出額	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	1,250,000
		うち県交付金	125,000	125,000	125,000	0	0	375,000
6	船生コミュニティ祭り	総事業費	398,940	353,900	500,000	500,000	500,000	2,252,840
		うち市町支出額	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	1,250,000
		うち県交付金	125,000	125,000	125,000	0	0	375,000
7	大宮コミュニティ祭り	総事業費	612,686	612,798	600,000	600,000	600,000	3,025,484
		うち市町支出額	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	1,250,000
		うち県交付金	125,000	125,000	125,000	0	0	375,000
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	20,867,620	23,395,215	21,400,000	21,400,000	21,400,000	108,462,835
		うち市町支出額	7,950,000	7,950,000	7,450,000	7,450,000	7,450,000	38,250,000
		うち県交付金	3,975,000	3,375,000	1,925,000	0	0	9,275,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調書)  
【単事業】

市町名	塩谷町
事業名	ふるさと納涼祭
事業主体の名称	ふるさと納涼祭実行委員会
代表者の名称	ふるさと納涼祭実行委員会 会長 福田徳一
事業主体の所在	塩谷町大字玉生741
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:帰省者の多い盆の時期に地域活性化を目的としたふるさと納涼祭の開催</li> <li>・設立年月日:平成7年4月1日</li> <li>・構成員等:各種団体の代表や塩谷町商工会員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町は全国名水百選に選ばれる「尚仁沢湧水」をはじめ、豊かな地域資源を有しているが、現在は人口減少・少子高齢化が進み、このまま対策を講じなければ2040年には人口が現在の12,000人から6割程度まで減少する危機的状況が迫っている。</li> <li>・このような人口減少を抑制するため、本町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、交流人口を増加させながら、Uターン者を増やすことが大きな課題である。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納涼祭は、多くの参加者に町の魅力を発信できる町内最大規模のイベントであり、約6万人の来場者が期待できることから、本町の観光地としての優位性を更に高め、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やす。</li> <li>・本事業に地域住民が主体的に運営・参加することで地域活性化や郷土愛の醸成が図られ、転出抑制・Uターン者の増加を目指す。</li> <li>・当事業を通して、町外・県外からの参加者や観光客に町の豊かな魅力を発信し、町内へのリピーターを増やし、観光地周遊による地域活性化を目指す。</li> </ul>
事業概要	<p>【ふるさと納涼祭の開催】 開催日:8月16日 開催メニュー: ①栃木放送等の各種メディアを活用して大会開催・町の関連情報を町外に発信(町内及び近隣市町の観光スポットへポスターを掲示) ②町内中学生による「昔懐かしい露店の復活」 ③打上総数1万発の花火大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お盆の時期に開催することで、町外から町内への帰省者や近隣市町等からの参加者拡大を図り、町外からの来場者に塩谷町の魅力を発信し、当該イベント以外での本町への観光客誘致、転入者増加に繋げるきっかけとなった。</li> <li>・地域住民のボランティア等を募ることで自主的な事業運営が実現でき、地域活性化や郷土愛醸成の機運を高め、転出抑制に繋がった。</li> <li>・平成28年からイベント当日は、Uターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「ココシル塩谷」に関するチラシを配布した。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、Uターン者を増やす。 【KPI】新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度:1,800人/年 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成26年度:6,525人 → 平成31年度:約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ふるさと納涼祭の開催	ふるさと納涼祭の開催	ふるさと納涼祭の開催		ふるさと納涼祭の開催
事業費	10,369,500	10,319,586	9,200,000	29,889,086	9,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	10,800,000	3,600,000
うち県交付金	1,800,000	1,200,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6,769,500	6,719,586	5,600,000	19,089,086	5,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 恭行
電話	0287-45-1112
FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shioya.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	塩谷町
事業名	湧水の里マラソン大会
事業主体の名称	湧水の里マラソン大会実行委員会
代表者の名称	湧水の里マラソン大会実行委員会 会長 見形和久
事業主体の所在	塩谷町大字船生989-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:湧水の里マラソン大会の開催</li> <li>・設立年月日:昭和54年4月1日</li> <li>・構成員等:体育協会等の関係団体で組織</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在本町は全国名水百選に選ばれる「尚仁沢湧水」をはじめ豊かな地域資源を有しているが、人口減少、少子高齢化が進み、このまま対策を講じなければ2040年には人口が現在の約12,000人から6割程度まで減少する危機的状況が迫っている。</li> <li>・このような人口減少を抑制するため、交流人口・定住人口を増加させることが大きな課題である。</li> <li>・本大会は今年で35回目を迎え、参加者は増加傾向にあり、現在1,000人規模にまで拡大している。</li> <li>・町外からの参加ランナーも多数おり全国的に幅広く認知されている一方、大会参加だけでなく、町の魅力を発信する好機とし、町内への観光周遊、交流人口増加へ結びつけることが課題となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国規模の大会であるため、多くの参加者により町内の賑わいを創出して地域経済の活性化に繋げ、スポーツ資源を活かした観光プログラムとして、本町の魅力を発信する取組みとして展開させる。</li> <li>・参加者への補給品等で塩谷町の特産品や自然の魅力をPRし、マラソン大会以外での観光地への周遊、誘客促進に繋げる。</li> </ul>
事業概要	<p>湧水の里マラソン大会の開催</p> <p>【平成29年度】 開催日:12月10日 参加人数規模:約1,200人 (一般 10km・5km 女性 3km 中学生 5km 小学生 2km)合計629名の申し込み 開催メニュー: ・大会参加者に塩谷町の魅力を発信するため、道の駅「湧水の郷しおや」で販売する地産産物の野菜や花卉などを賞品にする。 ・参加者全員に地域で採れた野菜を使用した芋煮汁などを無料提供し、町全体のPRを図る。 PR: ・各種広報やランナー向け関連HP(RUNNET等)に掲載し、全国に向け広く周知を図る。 ・平成28年からイベント当日は、U・ターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「ココシル塩谷」に関するチラシを配布する。</p> <p>【平成30年度】 内容等を改善しつつ、継続して開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・ターン者を増やす</p> <p>【KPI】ジュニアスポーツ大会参加者数 平成27年度450人/年 → 平成31年度900人/年【平成28年度実績520人】 新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度1,800人/年【平成28年度実績:88人】 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成27年度:7,223人 → 平成31年度:約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
	湧水の里マラソン大会の開催				
事業費	3,690,405	3,397,323	3,000,000	10,087,728	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	1,500,000	5,500,000	1,500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	750,000	2,750,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,690,405	1,397,323	1,500,000	4,587,728	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 恭行
電話	0287-45-1112
FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shioya.lg.jp

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	塩谷町
事業名	道の駅交流促進事業
事業主体の名称	道の駅湧水の郷しおや運営協議会
代表者の名称	道の駅湧水の郷しおや 駅長 見形和久
事業主体の所在	塩谷町大字船生3733-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:道の駅の管理運営及び地域情報発信、地域活性化に資する企画運営</li> <li>・設立年月日:平成26年4月1日</li> <li>・構成員等:道の駅の支配人及び事務局、船生コミュニティ推進協議会等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅湧水の郷しおやは、塩谷町の魅力情報を発信する拠点として平成24年6月下旬にオープンし、多くの観光客を集めている。</li> <li>・地域特産品の販売はしているが、偶来場した観光客も多いため、拠点である道の駅事体をPRし、施設・本町へのリピーターを更に伸ばす機会の創出が課題となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の観光施設や地域コミュニティ、各種メディアとの連携を図りながら、道の駅への多数の来場者に対して塩谷町の魅力、地域特産品や観光情報をPRする。</li> <li>・町全体の情報発信施設として役割を強化するため、季節に応じたイベントを開催し、町外はもちろん県外からの観光客集客、拠点施設の活性化を図る。</li> <li>・来場者の町内周遊、地域活性化を推進するとともに、来場者が塩谷町の魅力を感じリピーターとして町内へ訪れるきっかけとする。</li> </ul>
事業概要	<p>道の駅湧水の郷しおや各種イベントの開催</p> <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①5周年記念イベント ステージイベント、塩谷町特産野菜詰め放題、福引、木工教室(塩谷町産材木使用)等</li> <li>②秋の収穫祭 塩谷町産コシヒカリの試食、地元産野菜を使用した食材の提供、さんまのつかみどり、塩谷町特産品が当たる福引</li> <li>③クリスマスイベント ステージイベント、塩谷町特産品が当たる福引 …等季節に応じた各種イベントの実施</li> </ul> <p>・道の駅湧水の郷しおやは、館内のインフォメーションディスプレイで塩谷町の四季折々の風景を紹介しており、イベントに関わらず年間を通して塩谷町の情報を発信する情報交流館としての役割を担っている。</p> <p>・館内への各種イベント等のポスター、チラシの掲示により、更に多くの観光客を町内に呼び込み、本町の魅力を発信する拠点施設の環境整備に努める。</p> <p>・季節に応じた様々なイベントを実施することで、この時期でしか味わう事の出来ない塩谷町の魅力を発信し、リピーター増へ繋げる。</p> <p>・平成28年からイベント当日は、U-Iターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「ココシル塩谷」に関するチラシを配布する。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>イベント内容等を改善しつつ、継続して道の駅湧水の郷しおや各種イベントを開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U-Iターン者を増やす</p> <p>【KPI】新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度1,800人/年【平成28年度実績:88人】 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成27年度:7,223人 → 平成31年度:約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①4周年記念イベント ②秋の収穫祭 ③クリスマスイベント …等季節に応じた各種イベントの実施	①5周年記念イベント ②秋の収穫祭 ③クリスマスイベント …等季節に応じた各種イベントの実施	①6周年記念イベント ②秋の収穫祭 ③クリスマスイベント …等季節に応じた各種イベントの実施		①7周年記念イベント ②秋の収穫祭 ③クリスマスイベント …等季節に応じた各種イベントの実施
事業費	2,164,995	2,114,010	1,600,000	5,879,005	1,600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,164,995	1,114,010	600,000	2,879,005	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 恭行
電話	0287-45-1112
FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shioya.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	塩谷町
事業名	しおや湧水の里ウォーク
事業主体の名称	しおや湧水の里ウォーク実行委員会
代表者の名称	しおや湧水の里ウォーク実行委員会 会長 尾形 新一郎
事業主体の所在	塩谷町大字玉生570-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:しおや湧水の里ウォークの開催と塩谷町の魅力を外部へ発信し、参加者の健康増進を図る。</li> <li>・設立年月日:平成27年2月</li> <li>・構成員等:体育協会等の各種団体の代表</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化や人口減少が進む本町は、本町の有する豊かな地域資源、自然等の魅力を積極的に発信し、交流人口の増加に取り組む必要があり、更なる地域の活性化を図るため、昨年にしおや湧水の里ウォークが初開催された。</li> <li>・一方、本大会の規模を更に拡大させ、恒常的な誘客促進・周遊観光客の拡大に繋げるための環境整備は不十分であり、この大会参加者を本町へのリピーターとし、更に人を呼び込んでいく取組が必要となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催を通じて本町の有する豊かな自然を直に感じてもらい、積極的に町の魅力を発信する好機とする。</li> <li>・昨年から始まった事業であり、認知度が不十分である、多くの参加者を受け入れる地域の環境整備や大会PRを行いつつ、本町を訪れるリピーターを確保する。</li> <li>・この事業では地域住民のボランティアが多数参加するため、住民主体の地域特性を活かした自主的なイベント運営のモデルケースとして、地域の担い手人材を育成する機会とし、世代を超えた持続的な地域の活性化に繋げる。</li> </ul>
事業概要	<p>しおや湧水の里ウォークの開催</p> <p>【平成29年度】 開催日:4月8日、8月11日 開催メニュー: ①100km(300人 町内を周回する平坦コース50kmを2周する大会、4月8日開催) ②40.8km(800人 大自然の渓谷を歩くハードコース)を歩く大会、8月11日開催) ・平成29年度より新たに町内を周回する100kmのイベントを開催する。 ・地元の人々の意見を取り入れ、本町独自の地域資源に触れることができる場所をコースに設定することで、地域特性を活かしたスポーツ観光プログラムとして実施。 ・観光客がほとんど訪れることのない地域を参加者が自ら歩き、自然を目にし、塩谷町の魅力を直接肌で感じることができるため、本大会をきっかけに町内全体の観光客への誘客に繋げる。 ・大会参加者の拡大を図るため、町内に限らず町外でポスター掲示、雑誌掲載、ラジオ等で周知を図る。 ・栃木県の山の日制定イベントとしても位置付けられ、県HP等でも本イベントの情報を発信している。 ・大会参加者には、町パンフレットを配布し町全体の観光客増へ繋げる。 ・平成28年からイベント当日は、Uターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「コソシル塩谷」に関するチラシを配布する。</p> <p>【平成30年度】 内容等を改善しつつ、継続して開催</p>
事業に係る市町総戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、Uターン者を増やす</p> <p>【KPI】スポーツ観光プログラムの実施 平成27年度から新規 → 平成29年度までに整備 新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度1,800人/年【平成28年度実績:88人】 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成27年度:7,223人 → 平成31年度:約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①40.8km(大自の渓谷を歩くハードコース)を歩く大会の開催。 ②10.8km(軽いアップダウンの里山コース)を歩く大会の開催。 ③大会コースの案内看板等設置	①100km(町内を周遊するコースでの大会の開催。 ②40.8km(大自の渓谷を歩くハードコース)を歩く大会の開催。	①100km(町内を周回する平坦コース50kmを2周する大会の開催。 ②40.8km(大自の渓谷を歩くハードコース)を歩く大会の開催。 ③10.8km(軽いアップダウンの里山コース)を歩く大会の開催。		①100km(町内を周回する平坦コース50kmを2周する大会の開催。 ②40.8km(大自の渓谷を歩くハードコース)を歩く大会の開催。 ③10.8km(軽いアップダウンの里山コース)を歩く大会の開催。
事業費	3,300,900	6,278,606	6,000,000	15,579,506	6,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	600,000	600,000	600,000	1,800,000	600,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	900,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,700,900	5,678,606	5,400,000	13,779,506	5,400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 森行
電話	0287-45-1112
連絡先 FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shioya.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	塩谷町
事業名	玉生コミュニティ祭り
事業主体の名称	玉生コミュニティ推進協議会
代表者の名称	玉生コミュニティ推進協議会 会長 柿沼好一
事業主体の所在	塩谷町大字玉生681
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:玉生地区コミュニティの活性化</li> <li>・設立年月日:平成24年4月1日</li> <li>・構成員等:玉生地区の住民と関係団体</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷町玉生地区では、地域コミュニティの活性化を目的に、各種ボランティア活動や他地域との交流事業を展開している。</li> <li>・玉生コミュニティ祭りは住民が主体となって開催する地域の一大イベントであるが、参加者増加と塩谷町全体の交流人口増加に向けた取り組みが課題となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ間の相互協力により、更なるコミュニティ活動力の活性化を図る。</li> <li>・地域住民のボランティア等自主的なイベントの運営を通じて、住民主体の地域活性化を図り、郷土愛を育み転出の抑制へ繋げる。</li> <li>・地域芸能の魅力を発信する機会として、町外の方にも多く参加者を募りながら、本町への誘客を促進し、周辺観光施設への周遊にも繋げる。</li> </ul>
事業概要	<p>玉生コミュニティ祭りの開催</p> <p>【平成29年度】 開催日:11月26日 開催メニュー: ①ソーラン踊り、昇竜太鼓、オルガン演奏等地元団体による披露 ②模擬店(餅つき、カレー、豚汁等)の出店 塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・Iターン者を増やすため、地域住民が自ら祭りの企画・運営を行い、地域になじみのある催しを取り入れ、町外転出者も懐かしんでもらえるイベント内容とする。 町外からの観光客が集まる道の駅や船生コミュニティセンター等を中心に、各コミュニティと連携してイベントのポスター掲示、チラシを配布することで、町外及び県外からの来場者を増やし、塩谷町の魅力を発信することで当該イベントだけでなく観光客誘致へ繋げる。 平成28年からイベント当日は、U・Iターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「コソシル塩谷」に関するチラシを配布する。</p> <p>【平成30年度】 イベント内容等を改善しつつ、継続して開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・Iターン者を増やす</p> <p>【KPI】スポーツ観光プログラムの実施 平成27年度から新規 → 平成29年度までに整備 新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度1,800人/年【平成28年度実績:88人】 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成27年度:7,223人 → 平成31年度:約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、オルガン演奏等地元団体による披露 ②模擬店(餅つき、カレー、豚汁等)の出店	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、オルガン演奏等地元団体による披露 ②模擬店(カレー、豚汁等)の出店	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、オルガン演奏等地元団体による披露 ②模擬店(餅つき、カレー、豚汁等)の出店		①ソーラン踊り、昇竜太鼓、オルガン演奏等地元団体による披露 ②模擬店(餅つき、カレー、豚汁等)の出店
事業費	330,194	318,992	500,000	1,149,186	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	250,000	250,000	250,000	750,000	250,000
うち県交付金	125,000	125,000	125,000	375,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	80,194	68,992	250,000	399,186	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 森行
電話	0287-45-1112
FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shiyoia.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	塩谷町
事業名	船生コミュニティ祭り
事業主体の名称	船生コミュニティ推進協議会
代表者の名称	船生コミュニティ推進協議会 会長 松井 洋三
事業主体の所在	塩谷町大字船生3733-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 船生地区コミュニティの活性化</li> <li>・設立年月日: 昭和55年4月1日</li> <li>・構成員等: 船生地区の住民と関係団体等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷町船生地区では、地域コミュニティの活性化を目的に、各種ボランティア活動、他地域との交流事業を展開している。</li> <li>・船生コミュニティ祭りは住民が主体となって開催する地域の一大イベントであるが、参加者増加と塩谷町全体の交流人口増加に向けた取り組みが課題となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ間の相互協力により、更なるコミュニティ活動力の活性化を図る。</li> <li>・地域住民のボランティア等自主的なイベントの運営を通じて、住民主体の地域活性化を図り、郷土愛を育み転出の抑制へ繋げる。</li> <li>・地域芸能の魅力を発信する機会として、町外の方にも多く参加者を募りながら、本町への誘客を促進し、周辺観光施設への周遊にも繋げる。</li> </ul>
事業概要	<p>船生コミュニティ祭りの開催</p> <p>【平成29年度】 開催日: 11月19日 開催メニュー: ①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、手打ちそば等)の出店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・Iターン者を増やすため、地域住民が自ら祭りの企画・運営を行い、地域になじみのある催しを取り入れ、町外転出者も懐かしんでもらえるイベント内容とする。</li> <li>・当コミュニティセンターは道の駅と併設し、各コミュニティの中心的な役割を担っているため、常時イベントのポスター掲示、チラシ配布、地域コミュニティの最新情報を発信することで、町外及び県外からの来場者を増やし、町内への観光誘客促進に繋げる。</li> <li>・平成28年からイベント当日は、U・Iターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「ココシル塩谷」に関するチラシを配布する。</li> </ul> <p>【平成30年度】 イベント内容等を改善しつつ、継続して船生コミュニティ祭りを開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・Iターン者を増やす</p> <p>【KPI】新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度1,800人/年【平成28年度実績: 88人】 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成27年度: 7,223人 → 平成31年度: 約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、手打ちそば等)の出店	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、手打ちそば等)の出店	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、手打ちそば等)の出店		①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、手打ちそば等)の出店
事業費	398,940	353,900	500,000	1,252,840	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	250,000	250,000	250,000	750,000	250,000
うち県交付金	125,000	125,000	125,000	375,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	148,940	103,900	250,000	502,840	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 恭行
電話	0287-45-1112
FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shioya.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	塩谷町
事業名	大宮コミュニティ祭り
事業主体の名称	大宮コミュニティ推進協議会
代表者の名称	大宮コミュニティ推進協議会 会長 神長 暉
事業主体の所在	塩谷町大字大宮1028-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:大宮地区コミュニティの活性化</li> <li>・設立年月日:平成17年4月1日</li> <li>・構成員等:大宮地区の住民と関係団体等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷町大宮地区では、地域コミュニティの活性化を目的に、各種ボランティア活動、他地域との交流事業を展開している。</li> <li>・地域コミュニティの更なる活性化のため、平成19年からふれあい盆踊り大会を復活させ毎年開催していたが、参加者が伸び悩み平成27年よりコミュニティ祭りとして実施している。</li> <li>・他コミュニティに比べて認知度が不十分であるため、地域内の参加者増加と塩谷町全体の交流人口増加に向けた取り組みが課題となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ間の相互協力により、更なるコミュニティ活動力の活性化を図る。</li> <li>・地域住民のボランティア等自主的なイベントの運営を通じて、住民主体の地域活性化を図り、郷土愛を育み転出の抑制に繋げる。</li> <li>・地域芸能の魅力を発信する機会として、町外の方にも多く参加者を募りながら、本町への誘客を促進し、周辺観光施設への周遊にも繋げる。</li> </ul>
事業概要	<p>大宮コミュニティ祭りの開催</p> <p>【平成29年度】 開催日:11月5日 開催メニュー: ①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(スーパーボール、ポップコーン、輪投げ)の出店 ・塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・Iターン者を増やすため、地域住民が自ら祭りの企画・運営を行い、地域になじみのある催しを取り入れ、町外転出者も懐かしんでもらえるイベント内容とする。 ・町外からの観光客が集まる道の駅や船生コミュニティセンターを中心に、各コミュニティと連携してイベントのポスター掲示、チラシを配布することで、町外及び県外からの来場者を増やし、恒常的に塩谷町の魅力を発信することで当該イベントだけでなく観光客誘致へ繋げる。 ・平成28年からイベント当日は、U・Iターン者を増やすため、会場内に町内のイベント情報のポスター、チラシを掲示するとともに、本町ならではの魅力やライフスタイル、新たな観光プログラムを紹介し、多くの魅力を発信する観光・地域情報アプリ「コソシル塩谷」に関するチラシを配布する。</p> <p>【平成30年度】 イベント内容等を改善しつつ、継続して大宮コミュニティ祭りを開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創りだすと共に発信し、U・Iターン者を増やす</p> <p>【KPI】新たな観光プログラム参加者数 平成27年度から新規 → 平成31年度1,800人/年【平成28年度実績:88人】 交流人口(宿泊者数) ※観光客宿泊数・栃木県調査 平成27年度:7,223人 → 平成31年度:約10%増加</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、わたあめ、豚汁等)の出店	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(スーパーボール、ポップコーン、輪投げ等)の出店	①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、わたあめ、豚汁等)の出店		①ソーラン踊り、昇竜太鼓、獅子舞等地元団体による披露 ②模擬店(焼きそば、わたあめ、豚汁等)の出店
事業費	612,686	612,798	600,000	1,825,484	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	250,000	250,000	250,000	750,000	250,000
うち県交付金	125,000	125,000	125,000	375,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	362,686	362,798	350,000	1,075,484	350,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画調整課 企画情報担当
担当者名	増淵 恭行
電話	0287-45-1112
FAX	0287-45-1840
E-mail	kikaku@town.shiyoa.lg.jp